

## 令和4年6月27日開催定例美祢市教育委員会会議録

**開催日時** 令和4年6月27日（月）午後2時から午後3時15分

**開催場所** 美祢市役所3階「委員会室」

### 出席委員

中本 喜弘	教育長
金子 明美	教育長職務代理者
山田 裕治	委員
山本 亜由美	委員
松本 孝志	委員

5人

### 出席教育委員会事務局職員

八木下理香子	教育次長
西山 宏史	事務局長兼教育総務課長
渡辺 義征	〃 学校教育課長
千々松雅幸	〃 生涯学習スポーツ推進課長
神田 高宏	〃 文化財保護課長兼世界ジオパーク推進課長
藤本 儀昭	〃 学校教育課主幹
倉増 裕	〃 教育総務課総務班長

7人

（午後1時）

### 開 会

**教育次長 八木下 理香子**

それでは、ただいまより、令和4年6月の定例教育委員会会議を開催いたします。

これからの進行は教育長よろしくお願いします。

### 教育長挨拶

**教育長 中本 喜弘**

皆様、改めましてこんにちは。

大変御多用の中、令和4年6月の定例教育委員会会議、御参集いただきまして誠にありがとうございます。

ロシアが、ウクライナに侵攻して早4か月余りということでなかなか停戦に

向けての筋道が立たないような状況でございます。

先週はいろんなことが起こっておりまして21日はオーストリアのウィーンで核兵器禁止条約第1回締約国会議ありまして残念ながら日本はオブザーバーでの参加も見送ったということでございます。

22日は御案内のとおり、参議院選挙の公示、一日多い18日間の選挙戦がスタートしたところでございます。

その18日、普段でしたら17日間ですけれども、1日前倒しだっていることで、23日は沖縄の慰霊の日を迎えることとなりました。

さらには26日から岸田総理出席のもとドイツでG7会議が始まっております。

そして今日はすごく美祢も蒸し暑くございますけれども、関東、甲信越、東海地方それから九州南部梅雨明けが宣言されました。

美祢市も週半ばぐらいから、30度を超える暑さということですから、九州北部、山口県も、今週中にはもしかしたら梅雨明けするのかなというふうな感じでございます。

## **署名委員の指名**

### **教育長 中本 喜弘**

それでは、本日、御提案しております、次第に沿って進めさせていただきたいと思っておりますので、委員の皆様方御意見等いただくときには、御手元のマイクを御利用いただきますよう、お願いします。

それではまず、署名委員の指名でございます。

松本委員、金子職務代理のお二人にお願いをしたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

## **<両名了承>**

## **前回会議録の承認**

次に前回会議録の承認でございます。

山田委員、松本委員、お二人でございますがよろしゅうございますでしょうか。

## **<両名承認>**

## 教育長 中本 喜弘

ありがとうございます。

## 冒頭報告

### 教育長 中本 喜弘

私からの報告でございます。5月の26日27日と、東京、神奈川に出張行ってまいりました。

まず初日は、慶應義塾大学SFC長谷部葉子研究会の講義に、出席をさせていただきました。

私も、夏に行われるSFCと中高生の合宿についてのお願いなり、美祢市の現状なりについてお話をさせていただきましたけれども、ゲストスピーカーが2人いまして、お一人目は、社会学者の古市憲寿さん、テレビでも有名な方ですね、すぐ近くで見ましたんですけど最初、どなたかなあ、すごい頭のいい人やなあと思って、よくよく考えたら八木下次長のほうから、テレビで出られてる方ですよってそういえば飛行機の際に言われたような気もしておりましたんですけど、後でセカンドスピーカーとしてしゃべらせていただきましたんですけど、ちょっと余りにもギャップがあり過ぎてどうなのかなと思ってましたけれども、長谷部研の学生さんからはですね、美祢市に対する、いろんな御質問いただいてですね、とっても興味を持っていただいて、後ほどまた説明があると思えますけれども、元気ある学生さんが美祢に、夏休み来てくださるようになっております。

次の日は文部科学省に御挨拶に参りまして、丸山文部科学審議官と面談をすることが出来ました。

これは八木下次長が交流人事で2年間ということでしたけれども、1年延長を美祢市のほうからお願いをしまして快くお引受けいただいた御礼に伺ったところでございます。

それからずっと下りまして、6月3日金曜日でございます。

教育委員の皆様もお見えいただいた方もいらっしゃると思えますけれどもフィールドワークで、中村智美さん約2か月、美祢市のほうに滞在いただいて、報告会ということでございました。

とても若い感性、それからよそ者、若者の目線で、美祢市のことについてもですねざっくりと鋭い御意見をいただいたところでございます。

こうした形で、慶應義塾大学SFCと美祢市の関係の中で、若い方々が地域に関わっていただくということで、教育分野のみならず、いろんな形で地域振興につながっていくのではないかと大いに期待をしているところでございます。

その日、夕刻から美祢・山梨子ども交流事業実行委員会がありまして、これは本年もオンラインにしたいということで山梨側からの御要望がありまして、

そうした形でやっていくということになりました。

その際、会長でもあります実行委員長の俵さんのほうから、若い人に委ねたいということで、実行委員長も役員が代わられて、改めて再スタートということになったところでございます。

6月7日火曜日から管理職面談を渡辺課長とともにさせていただいております。

教育長室で行う場合とそれから学校訪問、子供たちの様子も見ながら面談するというふうな形をとって随時進めているところでございます。

それから、6月8日、後ほどまた御報告があると思えますけれども6月定例市議会開会をしたところでございます。

さらに1番、最下段でございます6月11日、mineto教育改革プロジェクトの一端であります自己決定を促すキャンプ、mineto子どもキャンプの保護者説明会、こちらのほうもですね多くの保護者の皆様に集まっておきまして私も出席しましたけれども、保護者の皆様もわくわくするようなキャンプになるのではないかとこのように期待をしております。

こちらのほうも詳細は協議報告等で説明があるのではないかと思います。

めくっていただきまして市議会、それから先ほどお話ししました管理職面談とこなしまして6月24日の金曜日、公民館長会議の中でNPO法人市民活動プロデュースの理事長でありまして、私の高校の同級生であります平田理事長に、市民活動の自走をどう公務員がサポートするのかっていうふうなお話を1時間していただきました。

松本委員、山田委員も御出席をいただいて本当にありがとうございました。

美祢市の状況の中で公共サービスを担っていくのが市役所だけっていうことはもう大変難しい状況になっております。

そうした中で、市民お一人お一人が、地域づくりの当事者として、行政とともに地域づくりを行っていくというふうな形で、公民館長がまた市役所としては最前線で市民の皆様と協働していますので、これからの公共サービスの在り方についてもですね、しっかりと考えていただきたいということで開催をさせていただきました。

それから本日の定例教育委員会会議となっております。

私からの報告は、かいつまみましたけれども以上でございます。

その他、委員の皆様方のほうから何かあればよろしくお願いたします。

## **教育長 中本 喜弘**

特段ないようですので、議案審議に移りたいと思います。

どうぞよろしくお願いをいたします。

## **議題及び議事**

### **教育長 中本 喜弘**

それでは、報告第7号、美祢市学校医（耳鼻科医）の委嘱及び解嘱についての説明をお願いします。

渡辺学校教育課長。

### **学校教育課長 渡辺 義征**

報告第7号、美祢市学校医（耳鼻科医）の委嘱及び解嘱についてでございます。

御説明をいたします。

議案書の1ページから2ページ、資料の1ページから2ページをお開きください。

現在実施中の健康診断のうち、6月14日に実施の於福小、大嶺中、於福中の耳鼻科健康診断に際し、美祢市学校医の派遣を依頼している山口大学医学部耳鼻咽喉科学教室から、6月8日に医師変更の連絡があったことに伴いまして、臨時代理により委嘱したことから報告するものであります。

なお、任用期間につきましては令和5年3月31日までとなります。

説明は以上です。

### **教育長 中本 喜弘**

報告第7号についての説明が終わりました。

委員の皆様方から御質疑等あれば承りたいと思います。

それでは、質疑がないようですので質疑を終了いたします。

報告第7号について御承認いただけますでしょうか。

### **<全員承認>**

### **教育長 中本 喜弘**

はい、ありがとうございます。

報告第8号、美祢市立於福中学校統合協議会委員の解嘱についての説明をお願いします。

西山事務局長。

### **教育総務課長 西山 宏史**

報告第8号でございます。

美祢市立於福中学校統合協議会は、美祢市立於福中学校と美祢市立大嶺中学校の円滑な統合を図るため設置された組織でございます。

このたび、学校教職員の人事異動に伴い、1名の委員について令和4年3月31日付で臨時代理により解嘱したことから報告するものであります。

以上でございます。

**教育長 中本 喜弘**

はい、説明が終わりました。

それでは、報告第8号について御質疑を承りたいと思います。

何かございますでしょうか。

特にないようですので質疑を終了いたします。

それでは、報告第8号について御承認をいただけますでしょうか。

**<全員承認>**

**教育長 中本 喜弘**

ありがとうございます。

続きまして議案第45号、美祢市生涯学習のまちづくり推進協議会委員の委嘱について。

はい、千々松生涯学習スポーツ推進課長。

**生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸**

議案第45号、美祢市生涯学習のまちづくり推進協議会委員の委嘱について御説明申し上げます。

議案書、資料とも4ページになります。

美祢市生涯学習のまちづくり推進協議会委員は生涯学習関連団体との連携を図り、生涯学習のまちづくり関連事業の推進及び啓発活動等を行っております。

各市内企業等及び公民館から推薦のあったものの委嘱について、教育委員会の承認を求めるものであります。

なお委嘱期間は令和4年6月28日から令和6年3月31日までとさせていただきます。

以上になります。

**教育長 中本 喜弘**

議案第45の説明が終わりました。

委員の皆様方から御質疑があれば承りたいと思います。

特にないようですので質疑を終了いたします。

それでは議案第45号について御承認をいただけますでしょうか。

**<全員承認>**

**教育長 中本 喜弘**

はい、ありがとうございます。

続きまして、議案第46号、美祢市立秋吉台科学博物館建設基本構想策定委員会設置要綱の制定についての説明をお願いいたします。

はい、神田文化財保護課長。

**文化財保護課長 神田 高宏**

議案第46号美祢市立秋吉台科学博物館建設基本構想策定委員会設置要綱の制定について御説明いたします。

議案書の5ページから6ページとなっております。

美祢市立秋吉台科学博物館は、昭和31年の米軍による秋吉台空爆演習地問題が契機となり、秋吉台の自然保護と学術研究を行う機関設置の必要性から昭和36年に創立され半世紀以上にわたり秋吉台の研究、教育保護に寄与してきましたが、建物展示物の老朽化も目立ってきております。

近年、博物館利用者のニーズの多様化に伴い生涯学習活動やボランティア活動の拠点、さらには文化振興を起点とした観光振興、地域活性化など博物館には新たな役割が求められており建て替えを含めた計画的な整備を進めていく必要があります。

このたび、美祢市立秋吉台科学博物館の整備計画に関し、その基本的事項を審議するため美祢市立秋吉台科学博物館建設基本構想策定委員会設置要綱を制定するものであります。

以上でございます。

**教育長 中本 喜弘**

はい、議案第46号についての説明が終わりました。

委員の皆様方から御質疑御意見等あれば承りたいと思います。

特に御質疑等、ございませんようですので質疑を終了したいと思います。

それでは議案第46号について御承認をいただけますでしょうか。

**<全員承認>**

**教育長 中本 喜弘**

ありがとうございます。

関連します、続きまして議案第47号美祢市立秋吉台科学博物館建設基本構想策定委員会委員の委嘱についての説明をお願いします。

はい、神田文化財保護課長。

**文化財保護課長 神田 高宏**

議案第47号美祢市立秋吉台科学博物館建設基本構想策定委員会委員の委嘱について御説明いたします。

議案書の7ページから8ページとなります。

美祢市立秋吉台科学博物館建設基本構想策定委員会委員は、美祢市立秋吉台科学博物館の整備計画に関しその基本的事項を審議するため設置する組織であります。

この度、美祢市立秋吉台科学博物館の整備計画を審議するため、委員13名を委嘱したいので、教育委員会の承認を求めるものであります。

なお、委員の任期は、令和4年7月1日から教育委員会へ報告を行った日までとするものであります。

以上でございます。

**教育長 中本 喜弘**

はい、議案第47号につきまして説明が終わりました。

教育委員の皆様方から、御質疑、御意見等あれば承りたいと思います。

特段ないようですので、質疑を終了いたします。

それでは、議案第47号について御承認をいただけますでしょうか。

**<全員承認>**

**教育長 中本 喜弘**

ありがとうございます。

続きまして議案第48号、美祢市史跡長登銅山跡調査及び整備委員会委員の委嘱についての説明をお願いします。

はい、神田文化財保護課長。

**文化財保護課長 神田 高宏**

議案第48号美祢市史跡長登銅山跡調査及び整備委員会委員の委嘱について御説明いたします。

議案書の9ページ、資料の5ページをお願いいたします。

長登銅山跡調査及び整備委員会は、長登銅山跡の調査、整備及び活用方法を協議するため設置している組織であります。

このたび、全委員の任期満了に伴い、委員7名を委嘱したいので、教育委員

会の承認を求めるものであります。

なお、委員の任期は、令和4年7月1日から令和6年6月30日までとするものであります。

以上でございます。

### **教育長 中本 喜弘**

説明が終わりました。

それでは議案第48号について御質疑のある方はお願いをいたします。

特にないようですので質疑を終了いたします。

それでは、議案第48号について御承認をいただけますでしょうか。

### **<全員承認>**

### **教育長 中本 喜弘**

ありがとうございます。

それでは以上で本日提出しております報告2件と議案4件につきまして慎重審議をいただきまして誠にありがとうございました。

続きまして協議報告等に移りたいと存じます。

それではまず八木下教育次長。

### **教育次長 八木下 理香子**

私のほうからは2点御報告をさせていただきます。

1点目は、美祢市と慶應義塾大学SFC研究所との連携協力に関する協定に基づく学生のフィールドワーク活動報告会についてです。

先ほど教育長から冒頭に少しお話もございましたが、6月3日の日に慶應義塾大学総合政策学部4年の中村智美さんが、フィールドワークの活動報告会をしました。

中村さんがフィールドワークでお世話になった地域の方、そして学校関係の方、そして、美祢市議会からも、議長、教育民生委員長を初めとした議員さん方、そして市役所内から市長、副市長、教育長、そして、部局長を初めとした職員の皆さん、全部で39名御出席をいただいたところです。

中村さんから、美祢で約2か月間フィールドワークを行う中で感じたこと、考えたこと、それを踏まえて今後やりたいことなどについて発表がございました。

中村さんは7月末にありますmineto×SFC合宿にも来たいというふうに言ってますので、美祢とSFCをつなぐかけ橋になってもらえるんじゃないか

なということを期待しているところです。

2点目は、学校魅力化フォーラムについてです。

文部科学省の主催で学校魅力化フォーラムというものを毎年実施しているんですけども、それが今年は8月の26日の金曜日に実施する予定です。

先日、5月に文部科学省の初等中等教育企画課長の水田課長が美祢市のほうに視察にいらしたんですけどもその際に、美東小中学校での3小学校の合同授業の様子を御覧になられまして、また公設塾minetoにも行っていただきました。

そのときに、是非この取組をこの学校魅力化フォーラムで発表してもらえないかということでお話をいただきました。

この学校魅力化フォーラムというのは、少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育の推進を目的とした、先進地の事例発表みたいな形なんですけれどもこちらの中で、美祢市の取組をぜひということでお話をいただいています。

こちらのほうに対応したいというふうに考えております。

以上です。

## **教育長 中本 喜弘**

続いて、教育総務課西山事務局長。

## **教育総務課長 西山 宏史**

教育総務課からは、3点御報告がございます。

1点目は6月定例市議会の一般質問でございます。

今回の議会では、市議会議員4人から教育委員会に対して一般質問がありました。

それで今、質問要旨、答弁要旨、資料に落とし込んでおりますけども、今後、注意が必要だと思っておりますのは、岡山議員からの質問、山中議員からの質問だと思っております。

岡山議員の質問は、コロナ禍あるいはウクライナ情勢等によって食材費が値上がりしているが、小中学校の給食費の値上げはしないのか検討していないのかという御質問でございました。

私どもからの答弁としてはですね、今のところ現場の工夫で対応しておるので、直ちに値上げに向かうつもりはないという答弁をしておるんですが、今後ですね、材料費が本当にいよいよ高騰するし、現場の工夫のみでは対応出来ない場合はですね、また早急な対応が求められるという状況でございます。

ちょっと今後の動向に注意しなくちゃいけないと思っております。

それから、山中議員からの質問でございます。

秋芳総合支所の在り方を検討するワークショップですか、地元で開催されて、

そこで湧き上がってきた疑問を受けて急遽、議会でも御質問されたと聞いておりますが図書館についてはですね、美祢図書館、美東図書館、秋芳図書館、今後順次リニューアルする計画となっておりますが、司書、図書館機能の中枢を担う司書について3図書館、それぞれにですね1名ずつ配置していくべきではないかという御質問、そして、新秋芳図書館が完成した後、現在の秋芳図書館はどのように利活用されるのかという御質問が寄せられました。

答弁といたしましては、まず司書の方ですが、3図書館に1人ずつ計3人ありきではなくてですね、提供されるべきサービスの種類とかそのレベルを想定して3つの図書館、共通のサービスを一体的に展開していく必要がありますので、全体ですね業務の種類と業務の量を見据えて総合的に勘案して決めていく必要があるという答弁を市長がされてます。

それと、現在の秋芳図書館の今後の利活用なんですけど、郷土資料等の保管場所としての活用を考えておりますという答弁をしております。

これも、答弁についてもですね、今後のですね議論の進捗等、見極めながらですね、司書の人数については、図書館そして生涯学習スポーツ推進課で慎重に検討していくということが必要になろうかと思っております。

市議会の関係は以上でございます。

それから2点目でございます。美祢市学校給食センターにつきましてはですね、旧重安小学校跡地に建設すべくですね、今年度に入りまして5月の下旬にはですね、基本・実施設計業務の委託先を決定し、そしてその後ですね学校給食センター整備検討会と称して、現場で給食調理に従事するその給食調理員さん、そして栄養士の方に集まっていたいてですね、現場の使いやすさ、使いやすい現場にするにはどうしたらいいかということ念頭にですね、協議を重ねております。

今まで2回ほどそういう検討会をしたんですが、今の予定では計5回程度ですね、そういう検討を重ねていきたいという状況でございます。

それから③でJR西日本長門鉄道部訪問と書いておりますけども、重安小学校の左手に市道が南北に走っております。

市道、重安小学校を出て北に向かうと重安踏切っていうのがございます。

その踏切、あるいはですね市道の一部である厚狭川にかかる橋ですね。

そこを工事車両が渡っていいのか一応押さえておく必要があるということ建設課と協議をし、そしてJRについてはですねJR西日本の長門鉄道部さんをお邪魔してですね、工事車両が、その踏切を通行するようになるけども何か支障ないでしょうかという確認をしたというのを、6月15日にやっておりますんでJRさんとしてはですね、特に問題はないよとそういう工事があることJR側が認識しておけば大丈夫だよという御返事でございました。

学校給食センターにつきましてはですね、従来も御報告しておりますとおり、

令和6年の2学期からのですね、供用開始を目指して、今年度具体的に動き始めたところでございます。

それから括弧の3つ目でございます。

令和4年度の市町村教育長教育委員研究協議会、日時がですね、令和4年の12月23日の金曜日ということで、会場が神戸市中央区という、予定となっておりますね、教育長そして教育委員さん、計5名ですね、申し込む予定としておりますちょっと大分先のことでもありますけども、もしかしたら宿泊が絡むかもしれないし、ちょっと日帰りかもしれないんですけどもあらかじめ御報告という意味合いで掲載させてもらってます。

教育総務課からは以上でございます。

### **教育長 中本 喜弘**

続いて、学校教育課、渡辺課長。

### **学校教育課長 渡辺 義征**

はい、学校教育課からは、大きく3点御報告をさせていただけたらと思います。

まず1点目につきましては、美祢市中学校部活動改革推進協議会についてでございます。

事前配布資料のほうで、左どめをしております令和4年度第1回美祢市中学校部活動改革推進協議会開催要項というものをお出しただけたらと思います。

事前に御自宅のほうに御送付させていただいたものになります。

休日の部活動の地域移行に関しましては、美祢市立美東中学校のほうで今年から実践研究を始めますということで、これまでもお伝えさせていただいてきたんですけども、今後の美祢市全体の中学校の部活動の在り方について、協議をしていきます推進協議会のほうを開催するということで案内をしたところです。

この水曜日6月29日の水曜日に第1回目の協議会を開催いたします。

ここで委員の方12名を委嘱させていただきまして、その委員の方々から御意見をいただくということ、それから今回は、オブザーバー参加として、運動関係のいろんな関係団体全て、市内の全てのスポーツ少年団、体育協会に加盟をいただいている各種団体、連盟、協会等の方になりますけれども、こちらのほうの方にも御案内をしております。

今のところ、スポ少及び体育協会の加盟団体からは、18名の方が御参加いただくということになっております。

当日急遽来られる方もまだ増えるかとは思っておりますが、こちらのほうで

今美祢市が取り組んでいる中学校の部活動改革について御説明をさせていただこうと思っております。

これから地域移行をしていく場合に、スポーツ少年団であったり、各種連盟が受皿になっていただくということが考えられますので、それぞれの団体から御意見をいただいて、こういったところであれば皆さんの御協力が可能であるのか、また、行政として今後どういう支援をしていくことが必要なのかということ協議していきたいと思っております。

続きまして、大きく2点目になります。mineto教育改革プロジェクトに関しまして、mineto×SFC合宿等についてお話をさせていただければと思います。本日お配りしました表裏の、ちょっとこういう絵が書いてあるチラシのほう、お出しただけたらと思います。

このチラシはmineto×SFC合宿の参加者募集のためのチラシでございます。

このデザインもSFCの学生に考えてもらって、中身のほうもですね学生に考えてもらってチラシを作成したところになります。

既に御案内のように、7月の28日から30日の2泊3日で秋吉台国際芸術村で実施をすることになっておりますが、7月の8日までに、それぞれ、中学生高校生から申込みを受け付けるようにしております。

申込みフォームを使って申込みを受け付けておりますので、現在の状況っていうのが、明確にはわかりませんが先ほどLINEのほうで、SFCのほうから、今1人の申込みがありましたということが、先週末配って土曜日から受け付けを開始したので今、中身を検討しているような、御家族で行くべきか行かざるべきかっていうのを検討されている段階ではないかと思っております。

全ての、中学生には配りましたし、高校のほうも生徒数分のチラシをお願いをしておりますので、それぞれ配っていただいていると思いますので、何とか30名の参加ということで考えておりますので、一杯まで集まってほしいなと思っております。

内容としましては裏のほうにあります。ストンプというものを子供たちに体験をしてもらうとか、子供たちに表現をしてもらうということになります。

いろんな自分の身の回りのものを使って、リズムであったり、表現っていうことをする、芸術村ということもありますのでそれにちなんで取組ということを進めたいと思っております。

併せまして、mineto教育改革プロジェクトでminetoの取組を一点御報告をいたします。

7月の9日、土曜日になりますが、挑戦のトビラ授業で実施をしております観光マッププロジェクトで美祢市の観光マップを子供たちが作成をしたんですが、これのプロモーションに、東京のほうに、子供たちが行ってまいります。

4人の塾生と塾長の潟中の5名で東京のほうに参りまして、JALプラザというのがあるんですが、銀座の有楽町だそうです私はどういうところか全くわかりませんが、そこでプロモーションする。

それとまた、移動しまして、おいでませ山口館、山口のいろんなものを紹介をさせていただいているところでも、これは日本橋にあるそうですが、こちらのほうでもプロモーションをしていくことになります。

行くのが4人の代表の子供たちになりますので、このプロジェクトに参加をした残りの子供たちにつきましては、宇部空港で、山口を訪れた観光客の方に観光マップを配りながらプロモーションをするというふうにしております。

続いて、大きい3点目です。個別最適な学びの状況、学校での進捗状況について少しお話をさせていただければと思います。

先日6月の23日の日に、広島県廿日市市にございます、宮園小学校というところに視察に行っていました。

小・中学校各2名の先生と、八木下次長、それと指導主事2名がこちらの学校のほうに視察をしております。

視察の内容につきましては、この学校で、自由進度学習というのを取り組んでおります。

個別最適な学び、一人一人に応じた学びをするっていうものの一つとして今、学校教育課のほうでは自由進度学習というのを一つの手法として取り組んでおります。これの先進校ですので、是非ということでどんなものかをまずイメージを持ってもらうということもありまして、今、取組を進めていらっしゃる先生、それからこれからやろうと思っていられる先生でちょうど日程の都合があった方に行ってもらっています。

ここはもう3年目の取組ということで、単元を通して、自由進度学習をして、単元の最初に、こういうことをやるんですよっていう、全体のことをお話したら子供たちがゴールに向かってもう自分で学ぶ教材、等を選んで、どんどん学びを進めていく自分のペースです。

それを先生が伴走していくという取組をされておりました。

本市はまだ取組始めたところなので、そこまでの取組っていうのは、難しいんですけれども、当然子供たち一人ひとりが自分のペースで自分が選んだ学び方で進めていくっていうことは、それぞれの自立につながるとても大事なことだと思っておりますので、是非この視察の成果をこれから学校の実践につなげていければと思っております。

その自由進度学習につきましては、今、市内のいくつかの小学校で実際に先生に取り組んでもらっています。

昨年の2月に、大田小学校のほうで2名の先生が取り組んでもらったんですが、これらの発表を市内の先生方にもしておりますので、そういったと

ころも参考にまた今回の視察もあわせて、取組を進めてもらっています。

ただ今、取り組んでいらっしゃる方がほとんど小学校ということで中学校のほうにまだ、この取組が進んでいませんので、これから中学校のほうにも少しずつ広げていきたいというふうにこちらのほうも思っております。

実際に授業される先生は先生だけで考えるのは非常に難しい、ハードルも高いと思われますので、指導主事がそれぞれの先生に伴走して、一緒に授業づくりをしていくという取組を進めているところでございます。

併せて、最後、丸ポチでQubenaオンラインセミナーと書いてございますが、今は話の中で出てまいりました大田小学校で昨年度の末に取り組んでもらった自由進度学習、Qubenaを使いながら、学びの手だての一つとしてQubenaを取り込みながら自由進度学習をしました。この取組を、Qubenaの会社が実施をしておりますオンラインのセミナーのほうで発表いたします。

発表の日時が今日の4時からということなのでこの後、実際にオンラインで全国の先生方にこの発表が見ていただければと思っているところでございます。

大田小学校のほうに指導主事が今行っておりますので、そこからオンラインでつないでということを紹介をして質疑応答をしていくというような形の流れになろうかと思えます。

説明は以上です。

## **教育長 中本 喜弘**

はい、ありがとうございました。

続いて、生涯学習スポーツ推進課、千々松課長。

## **生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸**

生涯学習スポーツ推進課からは、大きく2点報告させていただきます。

まず1点目はmineto子どもキャンプについてです。

mineto子どもキャンプ保護者説明会を、申込み期限内の6月11日に公設塾minetoにて開催をいたしました。

保護者の方15名の参加がありました。

業務委託しておりますNPO法人体験学習研究会の二宮チーフディレクターなどから事業コンセプトは「文化系のキャンプ」なんだよとか、それから保護者の方と一緒に歌を歌い、アイスブレイクをした後、プログラムコンセプト（アドベンチャーキャンプ）、それからメインプログラム（ビバーク、ビーイング）等についての説明や八木下教育次長、それから中本教育長からこの事業に対する思いを説明していただいたところであります。

なお当日、説明会の様子は、YouTubeで限定公開を今もいたしており

ます。

結果 47 名の応募があり定員の 30 名、抽選をいたしたところであります。

続きましてこのスタッフトレーニングキャンプを 6 月 11 日から 12 日にかけて秋吉台家族旅行村で実施をいたしております。

本番当日のスタッフである、NPO 法人体験学習研究会の方 3 名、それから八木下教育次長、それから市内の小学校教諭 2 名、公設塾 mineto のスタッフ 2 名、それから生涯学習スポーツ推進課の職員 1 名が参加しております。

アイスブレイクそれからロープの結びかた、ビバーク、ナイトアウェアネスウォーク、龍護峰の登山、景清洞の探検を実際に体験してグループカウンセリングのスキルを習得するとともに、安全管理のための危険予測などを行ったところであります。

次に 2 点目は、NPO 法人市民プロデュース平田理事長の講演についてであります。

教育委員の皆様には本当急な御案内を申し上げ大変失礼をいたしました。

当日は公民館長、地域振興課職員、mineto のスタッフなど、約 30 名の参加がありました。

なお、各公民館主事にもお話を聞いていただきたく、ネット配信も行ったところであります。NPO 法人、平田理事長から、市民が自走できるための行政サポートと題して 1 時間御講演をいただきました。

NPO 法人市民プロデュースは協働がテーマの NPO 法人できらら博や花博などにも関わられております。

二つの大きなテーマ、「公民館を中心とした地域づくり、具体的にどうすれば」、そして「市民の行政依存度を改めて自走できる地域づくりへどうすれば」について事前に提出した各公民館長の悩みを具体的に、提示整理されながらお話をいただきました。

具体的内容を簡単に紹介させていただきます。

なぜ住民主体の地域づくりなのか、それは人類がこれまで経験したことのない激しい人口減少社会に対応するためである。

今から 25 年間で約 38% 人口が減少する。

今まで出来ていたことが出来なくなる。

そしてその時行政は何ができるのか。

それは大きな方針を示して昭和型の発想を改め、協働のリーダーシップ、これは上から引っ張るというのはなくて下から支える、そういったリーダーシップを発揮することである。

そこでは、住民に求めるだけではなくて行政がまずは意識を変えなければならない。

新しい行政の役割としては、特に悩みや課題を行政が抱え込んで、行政の中

で決めて施行するのではなくて、悩みや課題を地域にさらけ出していくことが大事であり、そのための技術が必要とされている。

なぜ、地域が、市民が自走しなければならないのか、市は何を目指しているのか、職員は正確に、理解し、魅力的にそれを伝えていくことが必要である。

最初市民は反発、困惑するが、これを乗り越えていくのが職員の仕事である。未来のために前向きでやる気あふれる人になる人をつくることが大事で、そのポイントは、事実と目的と対話である。

そこで、情報（データと事例）とファシリテーションが武器になる。

こういった内容であったというふうに思っております。

以上になります。

### **教育長 中本 喜弘**

千々松課長が一番理解したのではないか。

はい、続きまして文化財保護課と世界ジオパーク推進課神田課長両方ともやってください。

### **文化財保護課長兼世界ジオパーク推進課長 神田 高宏**

はい。それでは、文化財保護課から1点、世界ジオパーク推進課から2点ほど御報告のほうさせていただけたらと思います。

まず文化財保護課からですけど、机上にですね、このようなチラシを配布いたしておるかと思えます。

1枚紙です。

自分で火を起こして、鑄造体験をしようというワンペーパーとなっております。

こちらは、7月23日の土曜日、午前中ですが、長登銅山文化交流館で行われるイベントとなっております。

内容は、いろいろな方法で火を起こし、その火で、金属のスズをとかして鑄型に流し込みます。

そして、自分だけのメダルをつくるというものになっております。

これは、鑄造という方法でして、奈良の大仏をつくったときと同じ方法で、メダルをつくるということになっております。

火おこし、鑄造体験を通して古代の人々の苦勞、奈良の大仏のつくり方などを学ぶというふうなイベントとなっております。

続きまして、世界ジオパーク推進課から、御報告いたします。

1点目は、美祢市・野柳地質公園・致理科技大学オンライン国際交流会の御報告となります。

こちらの資料のほうはございませんので、口頭での御報告とさせていただきます。

ます。

6月2日木曜日に、市長、教育長、美祢市議会日台友好議員連盟の村田会長らが参加されまして、ここの委員会室でオンライン開催されました。

前半は、それぞれの代表の挨拶、記念品交換などを行っております。

そのあと後半はですね、カルスターから、Mine秋吉台ジオパークの専門員が、致理科技大学の学生にオンラインで、Mine秋吉台ジオパークについて講義を行うとともに、その通信のチャット機能を使いまして学生からの市へ質問を受け付けそして答えるというふうにですね、なかなか中身の濃い交流が出来たと感じております。

続きまして、ジオフェス2022夏祭りの御報告になります。

チラシのですね1枚ものでこのジオフェス夏祭りというチラシのほう配付させていただいております。

こちらは、7月23日16時から20時で、カルスター周辺で、ジオパークのイベントを開催いたします。内容につきましては、ヨーヨー釣りや輪投げ、飲食の屋台、秋芳洞のジオツアー、トゥクトゥクジオツアー、北河内神楽舞保存会による神楽舞の奉納などを行う予定となっております。

今回は、初の試みといたしまして、夕方から夜に実施いたします。

観光部局とも連携いたしまして、秋芳洞営業終了後、真っ暗闇の秋芳洞を、ジオツアーでガイドを案内するというイベントも開催いたします。

ぜひ御来場いただけたらと思います。

以上でございます。

## **教育委員からの提案及び意見**

### **教育長 中本 喜弘**

はいありがとうございました。

所管ごとから御報告をいたさせました。

それでは、今までの報告、それから議案等についても結構でございます。教育委員の皆様方から御提案なり御意見なりがあれば承りたいと思います。

はい、金子職務代理。

### **職務代理者 金子 明美**

美祢市学校給食センターのことでございます。

以前、説明を受けたかもしれませんが、この整備検討会の構成メンバー、それから人数、それから5回程度の検討会を行うという御説明でしたが、どのような内容について検討されていくのかっていうことがね。

それから3点目ですが、山陽小野田の給食センターの見学にまいりました。で、そのときに、いろんな面で参考になる点があったかなというふうに思う

んですが、現場の声を聞きながら、それから、他市の良い取組を取り入れて、美祿市のものをつくり上げていかれたらどうかというふうなことを思いました。

以上です。

#### **教育総務課長 西山 宏史**

教育長、この検討会ですね、教育総務課の倉増班長が出席しておりますので、お答えをさせたいと思います。

#### **教育総務班長 倉増 裕**

教育総務課の倉増です。

今の御質問なんですが、栄養士は各調理場に1人ずつおりますがそれは全員入ってございます。

それと、正規の給食調理員、こちらのほうも、全員入っております。

第1回目については合同で行ったんですが、第2回目からは、各それぞれの意見を抽出したいということで、栄養士部会と調理員部会っていうように、グループワークで分けまして、それぞれの職種の方によって、どういった調理場にすべきかということをお話合っている最中でございます。

これをもう3回程度行ってあらかた骨子をまとめ上げて、設計に生かしていくというような状態になっております。

人数はちょっと正確ではないんですが栄養士が6人それから、給食調理員も6人程度だったと思います。

以上です。

#### **教育長 中本 喜弘**

従前、教育委員の皆様方のほうにも、山陽小野田の学校給食センター御一緒に見に行っていました。

そうした先進地の事例もですね、踏まえた上で、しっかりと設計担当のアリタ設計事務所と協議しながらですね、より良き学校給食センターになるように努めてまいりたいというふうに思っております。

御意見ありがとうございました。

金子職務代理よろしいですか。

#### **教育長 中本 喜弘**

そのほかございませんでしょうか。

松本委員。

#### **委員 松本 孝志**

すみませんちょっと教えてください。

先ほどの自由進度学習というのを、私もよくわからないんですが、話をお聞きして、子供たちの主体的な学びに結びついてくるのかなという印象を持ったんですけども。

自分で、いろんな方法で学ぶ、自分のペースで学ぶ、そのゴールに向かってそのゴールというのは、個々違うということになりますかね。

その辺り、どうかなあとちょっと思ったのと、教科としては今取り組んでいらっしゃる教科っていうのはどういう教科で取り組んでいらっしゃるのかなということをおちょっと教えていただけたらと思います。

## 教育長 中本 喜弘

渡辺学校教育課長。

## 学校教育課長 渡辺 義征

松本委員の御質問にお答えしたらと思っております。

ゴールについては、教科の学習内容がございますのでその学習内容を習得するということになりますのでゴールは皆同じところになります。

ただし、どんどん進んで発展的な学習を進めていく子については、その次のステップの学びも小学生であれば、中学生の学びのようなどころまで行き着く子も出てくることも、今後は考えられると思います。

ただ、全員が行きつかなければならないのはその単元で何を学ぶかっていう学習内容のところまで、最低で全員がたどり着くようにというふうに設定を、そして進めることになります。

今やっている美祢市内の先生方の場合は、大体1時間ずつで完結をするようなどころからまず取組を始めています。

ですので、授業の中でまず10分程度の今日の学習内容について、説明共通理解を図らなければならないところを説明をします。

そのあとはいくつかの手だてを使って子供たちが学んでいく。

中にはもう、黙々と資料を使って調べたり、黙々とQubenaをやっていく。中には、グループになって、協議をしたり、話し合っていくっていう子もいます。

一番こうつまづきがあってなかなか進みにくい子のところに先生がしっかり関わりながら進めていく、そしてその日の振り返りをしていく、これが大体多くの学校でやってくれています。

もうちょっとこう進めて2、3時間ぐらいのセットといいますか、2、3時間ぐらいの、授業をこの自由進度学習の流れでやろうというようなどころに取組を始めているところです。

行く行くは、単元全体を通してそういったことができればと思っております。

教科については、今の段階でほとんど取り組んでもらっている教科は、算数、数学でございます。

いろいろ先生方と話をしていく中で、社会科なんかもこの学びがすごく、効果的ですよね、とか社会科も出来そうだよねとか、理科でも可能じゃないかなってというようなところの話が出ています。

先日の宮園の小学校は、実は、算数と理科を並行して6年生がやっていて、同じ授業の中で、算数と理科があって、隣に理科室というか特別教室があって、理科のほうをやっていく子は、途中で理科室のほうに行っているいろんな実験器具が用意してあるのを使って自分が実験をしてまた戻ってくる。

というような学びもしておりましたのでいろんなバージョンが考えられるかなと思っています。

ただそれによって本当に子供たちが自分で、どういうふうに進めるかっていうのを選択、自己決定をして学んでいくという意味でやはり学びが深まる、自分が自立をしていくという、学びにつながっていくものだというふうに考えているところです。

以上でございます。

#### **教育長 中本 喜弘**

よろしゅうございますか。

はい、ありがとうございます。

ほかに何かございますでしょうか。

はい、松本委員どうぞ。

#### **委員 松本 孝志**

すみません、学校の様子をちょっと見させてもらったときに、W i - F i の環境がなかなか厳しいというのはよくあったんですけど、今、大分改善されてきておりますか。

ちょっとその辺り教えていただけたらと思います。

#### **教育長 中本 喜弘**

はい、渡辺学校教育課長。

#### **学校教育課長 渡辺 義征**

はい、W i - F i の環境につきましては、教育総務課の担当の三原主査の方がですね、かなりこう骨折って動いてくれておりまして一番難しかったのが大嶺中、大嶺小の状況なんです。

人数がかなり多い状況でたくさんの子が接続をしようとしたときにつながりにくくなるってというような状況がございました。

これについて、先週の土曜日に、大嶺中の工事をやってこの工事に、よって、今朝確認をしてきて、すごく快適に進むような状況が出来たということになりましたので、同じ工事を今度大嶺小学校のほうにでも実施をしようと思っています。

ます。

その他の学校のところもいくつか課題があったんですけどこれも、アクセスポイントの機械を交換してより性能のいいものに変えるとか、アクセスポイントの位置を変えとかってというような工事もやってきておりますので、ほぼほぼ解決しつつある状況でございます。

以上です。

### **教育長 中本 喜弘**

よろしゅうございますか。

ありがとうございます。

金子職務代理どうぞ。

### **職務代理者 金子 明美**

中学校の部活の改革推進協議会、これの開催ということで先ほど御説明があったんですがその受皿として地域のスポーツクラブ等のお話が先ほどありましたが、やはりこれ進めていくには指導者の確保というのが1番、ネックになるのではないかなというふうなことを思っております。

文化的な面でもやはりふさわしい方を探すっていうのがやっぱり大きな課題かなというふうに思っているんですが、現在いろんなところで探しておられると思いますが、現状といいますかお話いただけたらというふうに思います。

### **学校教育課長 渡辺 義征**

金子職務代理の御質問にお答えしたいと思います。

部活動改革を進めていくところで一番難しいところがやはり、今、金子職務代理が質問されたところ、人であったり、受皿になるところをどうするのかっていうことだと思います。

まず、美東中学校の実践研究で、今、5つ、文化部も含めて6つの部活動になりますが、これにつきましてはほぼほぼ御指導いただく方っていうのが見つかりつつあります。

文化部のほうにつきましては吹奏楽部がございまして、今山田委員さんが入っておられますスイングビートのほうにも、何とかお願いしたいということで、ずっとお願いし続けている状況でございます。

またいい返事がいただけるのではないかと確信をしておるところなんですけども、すいませんいらんこと言いましたが、休日の部活動の移行だけじゃなくて、やはり、これからは、それぞれの学校の子供の数が本当に急激に減っている状況で、学校単独ではもう部活動自体が成り立たなくなってしまう。

この段階になったときにいくつかの学校を多分2校でやるっていうことも、もうほぼほぼ不可能な状況になっておりますので、3つぐらいの学校で一つの活動、もっと言えば市内の6校、5校で一つの活動というようなことも当然起こ

りうるということになります。

このあたりになってくると現段階でどこが受皿になるのかっていうのはなかなか難しいかなと思ってます。

ただ、これまでいろんなところで協議をさせていただいたりいろんなお話をさせていただいたりする中で、スポ少野球の少年団の方が、中学生も、中学部というのをつくって御指導いただいているところもあります。こういった団体が今は一つの中学校ですけれどもほかの中学校からも子どもを引受けてくれて一緒に活動をしていくというようなことが考えられます。

運動部のほうは結構スポーツ少年団等がございますので、こういった形での受入れ先っていうのがメインになってくるだろうと思っております。

で、文化部に関してなんですが、今市内で文化部があるのは、大嶺中の吹奏楽部と美東中の吹奏楽部だけなんです。

ところが子供たちのニーズ調査といいますか、部活動に関するアンケートを行ったときに、いやいやほかにもあれば入ってみたい、やってみたいっていうお子さんもいらっしゃいます。

そういった中で多かったのが、美術部であったり家庭部のような内容のものが多かったんです。

こちらについては、今回の部活動改革推進協議会のほうに文化協会の会長さん、松原会長さんにも入っていただいております。

松原会長さんともお話をさせていただいて、公民館等の活動こういったところに子供たちが一緒になって入らせていただいで多世代の交流をしていくっていうのが、現実的な活動になるのかなあと考えています。

資料の中にありますが、スポーツ庁のほうで運動部活動についての提言というのを6月6日にしました。

その提言の概要版というのをおつけしておりますけれども、まずは休日の部活動から地域に移行していく、平日の活動も移行していくというような書き方で書いてあります。

ということは、美祿市の場合は、地域のほうで活動すること自体が部活動に、入れ替わるというふうに捉えています。

ですので、部活動というのがもう地域の活動をしていくそれをどうやって地域の皆さんに御協力いただきながら、支えていけるのかっていうようなところになろうかと思えます。

ですので部活というよりか、公民館活動に中学生も入って一緒に活動していく、そうすればいろんな子供たちもやりたい活動ができるし、地域の方々も子供たちの交流であったり、それによってそういった活動が今後も持続可能になっていくというものにつながっていくのではないのかなというふうには思っているところです。

ただこれはあくまでまだ青写真で想像上のことですのでいろんな課題がございますので実現するためにはまだまだいろんなところと協議をしながらま

た、行政として、教育委員会として、どうすれば、どの程度手を打っていけばうまくいくのかっていうことをですね一緒に考えていければと思っております。

以上でございます。

**教育長 中本 喜弘**

よろしいですか。

**職務代理者 金子 明美**

はい。ありがとうございました。

**教育長 中本 喜弘**

そのほかございますでしょうか。

それではないようですので、続いて事務局から次回の提案をさせていただきたいと思えます。

八木下教育次長。

**7月の教育委員会会議の開催予定**

**教育次長 八木下 理香子**

次回、7月の教育委員会会議は7月の22日金曜日の14時からここと同じ本庁3階委員会室で開催したいと思っております。

以上です。

**<全員了承>**

**教育長 中本 喜弘**

皆様よろしゅうございますでしょうか。

7月22日金曜日14時から、会場はこちらでございます。

御出席のほうどうぞよろしくお願いをいたします。

長時間にわたり御審議いただきまして誠にありがとうございました。

6月の定例教育委員会会議、以上で終了させていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

**(午後2時15分)**

令和 年 月 日

教育長

委員

委員

会議録作成